

モデル地区の方針と具体的施策

〈計画書の第 5、6 章に関わる内容〉

—目次—

1. モデル地区の選定	1
2. モデル地区の方針	3
3. 方針別の具体的施策	7
4. 施策展開の方針	17
(1) 施策の展開方向	17
(2) 軸の具体的施策	19
(3) 界わい・まちかどの具体的施策	24

■本文中で用いる語句等について

施策や方針の内容を記載する際に使用する主な表現の区分は以下のとおりです。

表現	主体	内容
図ります、つなげます、形成します	市	新たに取り組むもの
推進します	市	引き続き取り組むもの
促進します	市以外	市民、事業者、団体などと取り組むもの

1. モデル地区の選定

(1) モデル地区選定の目的

本計画ではモデル地区を選定し、“行田らしさ”を活かしたまちづくりの起爆剤として、まちづくりの活発な動きを点から線、線から面へと波及させ、市全体のまち並みづくりやにぎわいの創出につなげていきます。

この“行田らしさ”を活かしたまちづくりの方針を実現するために、前章の「5. 行田らしいまちづくりの推進の考え方」で示した視点に基づき、モデル地区を選定します。

(2) モデル地区の選定理由

本計画のモデル地区は、“行田らしさ”が集積している地区であり、市民活動が盛んに行われている地区でもある秩父鉄道行田市駅周辺の歴史的建築物が集積するエリアとします。

“行田らしさ”から見たモデル地区の特徴

【地 形】

- ・忍川の自然堤防と、微高地を活かして忍城址の城下町が形成されていたことから、現在でも当時の町割りやかぎ手の路地等が残っている。

【自 然】

- ・近くを忍川が流れ、また、かつて水路であった路地が各所でみられ、「水」とともに発展した浮き城のまちであった遺構が残っている。

【歴 史】

- ・足袋蔵や近代的建築物等の歴史的建築物が集積し、また、当該地区の周辺部には忍城址、水城公園等の歴史・自然資源が点在するなど、歴史的資源が豊富に存在する。

【文 化】

- ・歴史的にも政治経済や商業の中心地として発展してきており、本市の活性化を図るための核となるエリアである。
- ・現在は、歴史的建築物、住宅地、商業地、秩父鉄道行田市駅、市役所等の公共施設等、多様な要素から成り立っており、本市の中心市街地として生活拠点が形成されている。

【気 風】

- ・本市の発展を支えた商店はもとより、足袋蔵を保存・活用した取組みや市内の観光資源へのガイド、郷土史や歴史文化の継承への取組みなど、まちづくり活動が活発に取組まれている。

（３）モデル地区の概要

〈概要〉

秩父鉄道行田市駅周辺の歴史的建築物が集積するエリアは、秩父鉄道行田市駅の南に位置し、住宅地が建ち並ぶ中に足袋蔵等の歴史的建築物が点在しています。このエリアを東西に走る国道125号は、古くから中心市街地の骨格的な都市軸として、沿道には商店が建ち並び、一部の区間では電線類の地中化が行われています。また、この秩父鉄道行田市駅から南に走る新町通り沿い等にも商店が建ち並んでいます。

〈問題点〉

当該地区では、人口が減少傾向にあり、また、高齢化が進行していることから、空き家や空き店舗、空き地等の未利用空間が増加しています。一方、市民活動が盛んな地区で、主体的な取り組みが進められていますが、主体間の連携が不足しています。

従って、行田らしさを活かしたまちづくりを実現するにあたり、これらの問題を解決するため、具体的なまちづくりの取り組みを実施する必要があります。

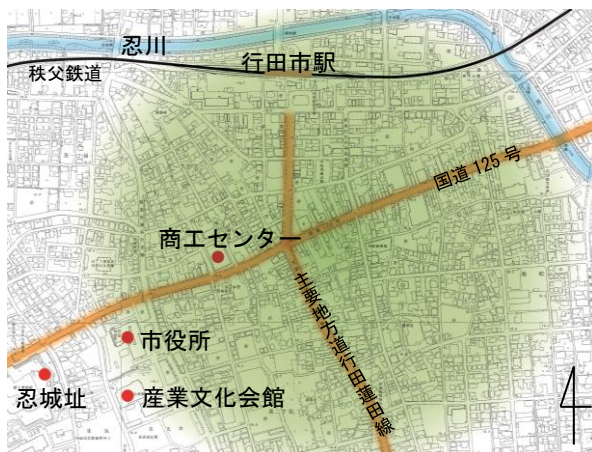
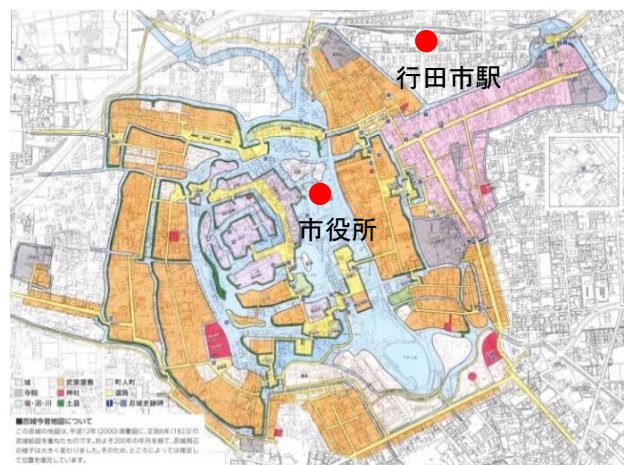


図1：秩父鉄道行田市駅周辺の歴史的建築物が集積するエリアの概ねの範囲（緑枠の内側）



〈参考〉図2：忍城址周辺の今昔地図

2. モデル地区の方針

(1) モデル地区の方針と目標

方針1：人が主体となり、地域を考え、育てるまちづくり

当該地区は、地域住民の営みだけではなく、商店街を中心とした事業者、NPOなどの市民活動団体などが地域活動に取り組んでおり、市民の生活と活動の場となっています。地区のまちづくりにおいては、これらの“人”が主役であり、人々の交流を促進するため、主体となってまちの“顔”をどう形作っていくのかを考え、まちづくりを推進します。

目指すべき目標：まちづくり活動の参加者を増やす

【現状値：32.0%（平成21年度）】

指標：住みよい行田をつくるための地域活動に参加したいと考えている市民の割合※1

※1 第5次行田市総合振興計画 まちづくり目標 No.31

方針2：歴史と文化の香りが漂う歩きたくなるまち並みづくり

当該地区に点在する様々な時代に建てられた歴史的建築物を貴重な地域資源として、保存・活用し、まとまりとつながりのある界わい¹⁾やまちかど²⁾の空間を形成することにより、地域の方々や来訪者が歴史的・文化的な雰囲気を感じながら、歩いて楽しめるまち並みを形成します。

目指すべき目標：歴史的なまちづくりに興味を持つ人を増やす

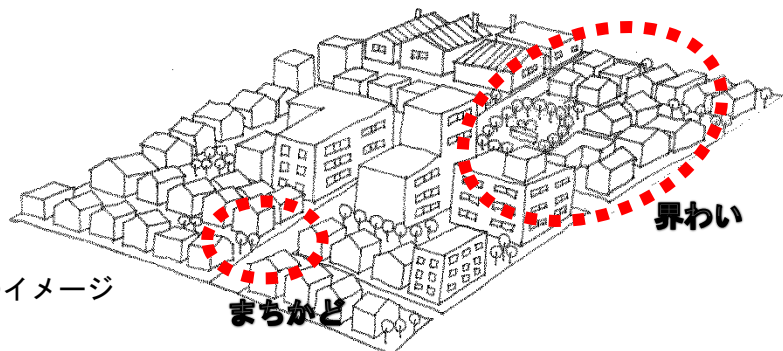
【現状値：32.8%（平成25年度）】

指標：当該地区内での歴史的な景観づくりのための活動に参加したいと思う市民の割合※1

※1 景観まちづくりに関する市民アンケート調査（平成25年度）結果

※用語説明

- 1) 界わい：核的施設の周辺、数軒から十数軒の建物等のまとまり
- 2) まちかど：辻、辻広場、バス停や1本の木のまわり、ベンチや掲示板等のまわり等



〈参考〉図3：界わいとまちかどのイメージ

方針 3：水と緑がうるおいをもたらす四季を感じるまち並みづくり

街路樹や寺社仏閣等の豊かな緑を身近に感じられるまち並みの形成を図ると共に、ゆとりと安らぎの感じられる開放的な水辺空間の創出により、本市の特徴である豊かな水と緑がうるおい、一年を通して四季の移ろいを愉しめるまち並みを形成します。

目指すべき目標：緑化活動や美化活動に興味を持つ人を増やす

【現状値：26.3%（平成 25 年度）】

指標：当該地区内での緑化活動及び公共施設（道路等）の管理や清掃活動に参加したいと思う市民の割合※¹

※¹ 景観まちづくりに関する市民アンケート調査（平成 25 年度）結果

方針 4：暮らしと交流が調和したにぎわいづくり

地域への愛着と誇りを醸成することで、「訪れたい」「住みたい」と思えるようなおもてなしの取組みを地域住民や事業者、各種団体が連携して推進していき、住民と来訪者の交流につなげます。

また、“暮らし”と“交流”をつなげることで、地域住民と来訪者の双方が満足できるにぎわいの創出を図ります。

目指すべき目標：訪れたい、住みたいと思う人を増やす

【現状値：9,674 人（平成 22 年度）】

指標：当該地区内での人口数の推移※¹

※¹ 平成 22 年国勢調査による行田地区及び忍地区の人口

（２）方針別の施策体系

方針１ 人が主体となり、地域を考え、育てるまちづくり

- 1-1 住み易く、住み続けたいまちに向けた仕組みづくり及び協議会などの設置
- 1-2 地域におけるまち並み点検
- 1-3 地域資源の発掘とリスト化
- 1-4 既存施設や歴史的建築物を活用したまちづくり活動の支援
- 1-5 地域資源を紹介する観光ガイドの育成及び歴史と文化を継承する活動の支援
- 1-6 歩行者空間や空き地等における緑化活動の支援
- 1-7 歩きたくなるまちに向けたまちなかの美化活動の支援
- 1-8 集客のためのイベントの企画・実施
- 1-9 文化財及び地域資源を活用したまちづくり活動の支援
- 1-10 地域における空き地や道路空間の管理・保全
- 1-11 まちづくり活動やイベントの情報発信
- 1-12 まちづくりニュース等の発行によるまちづくり意識の醸成

方針２ 歴史と文化の香りが漂う歩きたくなるまち並みづくり

- 2-1 景観形成に関するルールづくり
- 2-2 足袋蔵等の歴史的建築物の保存及び活用
- 2-3 歴史的建築物周辺のまち並み環境の整備
- 2-4 歴史的なまち並みの修景（外観や塀）
- 2-5 商店街におけるにぎわいと歴史が感じられる店舗前空間の形成
- 2-6 回遊するための道路の美装化及び電線類の地中化
- 2-7 まち並みのライトアップ及び歩道用照明の設置
- 2-8 歴史的建築物等の案内表示と誘導サインの統一
- 2-9 ユニバーサルデザインによる歩行者空間等の整備
 - 地域におけるまち並み点検（再掲 1-2）
 - 地域資源を紹介する観光ガイドの育成及び歴史と文化を継承する活動の支援（再掲 1-5）
 - 歩きたくなるまちに向けたまちなかの美化活動の支援（再掲 1-7）

方針3 水と緑がうるおいをもたらす四季を感じるまち並みづくり

- 3-1 憩う場所としての水辺空間の環境整備
- 3-2 幹線道路沿道の街路樹の保全と整備
- 3-3 寺社仏閣等のまとまった緑の保全
- 3-4 緑豊かなポケットパークや広場の整備
 - 地域資源の発掘とリスト化（再掲 1-3）
 - 歩行者空間や空き地等における緑化活動の支援（再掲 1-6）
 - 文化財及び地域資源を活用したまちづくり活動の支援（再掲 1-9）

方針4 暮らしと交流が調和したにぎわいづくり

- 4-1 都市機能の集約に向けた生活関連施設の充実
- 4-2 空き地や空き家を活用したコミュニティスペース等の滞在空間の整備
- 4-3 空き店舗を活用した商店街の活性化
- 4-4 若者の定住促進
- 4-5 地元の素材を使った特産品の開発及び販売
 - 地域資源を紹介する観光ガイドの育成及び歴史と文化を継承する活動の支援（再掲 1-5）
 - 文化財及び地域資源を活用したまちづくり活動の支援（再掲 1-9）
 - 景観形成に関するルールづくり（再掲 2-1）
 - 歴史的建築物等の案内表示と誘導サインの統一（再掲 2-8）
 - ユニバーサルデザインによる歩行者空間等の整備（再掲 2-9）
 - 緑豊かなポケットパークや広場の整備（再掲 3-4）

3. 方針別の具体的施策

方針1 人が主体となり、地域を考え、育てるまちづくり

1-1 住み易く、住み続けたいまちに向けた仕組みづくり及び協議会等の設置

住み易く、住み続けたいまちに向けて、子育て世代への支援などの仕組みづくりや地域、事業者、団体による協議会等の設置を図ります。

1-2 地域におけるまち並み点検

地域の特徴を活かしたまち並みづくりに向けて、市民等が主体となり、地域の景観資源や景観阻害要因等の点検を行い、地域住民の景観意識の醸成を図りながら良好な景観形成を推進します。

1-3 地域資源の発掘とリスト化

まち並み点検等を通じて、地域の人的資源や物的資源を発掘及びリスト化し、地域や団体等へ広く周知することで地域資源の継承を図るとともに、地域資源を活用したまちづくりを推進します。

◆ 実施例：行田観光ガイドブック（市内）

行田観光ガイドブックは、本市の歴史や文化の資源、モデルコースやイベント、土産物等を紹介している市内の観光資源のガイドブックとなっており、来訪者への地域情報の発信を図る重要なツールとなっています。

行田観光ガイドブック



1-4 既存施設や歴史的建築物を活用したまちづくり活動の支援

NPO 法人等の団体が中心となって、地域住民や商店街と連携しながら、歴史的建築物や空き店舗等を休憩場所や市民活動の場として広く活用するなどして、にぎわいの創出を図り、地域の活性化につなげます。

◆ 実施例：NPO 法人忠次郎蔵によるそば店の運営及びそば打ち教室の開催（市内）

国の登録有形文化財に指定されている忠次郎蔵を蕎麦屋として再生し、そば打ち教室やミニコンサート等を開催し、多くの人に親しまれる活動に取り組んでいます。

忠次郎蔵でのそば打ち教室



1-5 地域資源を紹介する観光ガイドの育成及び歴史と文化を継承する活動の支援

地域資源を紹介する観光ガイドの育成を行うとともに、歴史と文化を体験・習得させることを目的とした活動を継続的に取組めるように、団体と行政等が地域情報を交換する場を設けるなどの支援を推進します。

◆ 実施例：行田市観光ボランティア会（市内）

行田市観光ボランティアは、来訪者に楽しんでいただくこと及び、市の歴史や文化を知っていただくことを目的として、市の歴史を学んだ方による、市内の観光資源のガイドを行っています。

行田市観光ボランティア会



1-6 歩行者空間や空き地等における緑化活動の支援

本町通りや新町通り周辺の歩行者空間や点在する空き地、路地空間などにおいて、地域住民や事業者等が主体となった緑化活動を促進します。

1-7 歩きたくなるまちに向けたまちなかの美化活動の支援

地域の住民や学校、自治会、各団体などにより、まちなかの路地やまちかどなどを花や緑で彩る環境美化活動やごみ拾いなどの清掃活動を行い、きれいで居心地の良いまちなかを形成します。

◆ 実施例：前谷地区及び長野地区の環境保全協議会による植栽作業（市内）

前谷地区及び長野地区では、地域で環境保全協議会を設立し、地域の環境保全のための植栽作業や管理を行い、まちなかの美化活動に取り組んでいます。

前谷地区の環境保全協議会による花植え



1-8 集客のためのイベントの企画・実施

イベントの開催時には、地域住民や来訪者に対して、今後の取組み・活動に対するニーズを把握するための提案型意向調査を実施し、需要に応じた集客イベントの開催や地域活動の実施を図ります。

◆ 実施例：行田軽トラ朝市（市内）

軽トラックの荷台の上に朝採りの新鮮な行田産農産物を載せ、生産者自らが対面販売を行っており、生産者と消費者との交流が図られています。

行田軽トラ朝市



1-9 文化財及び地域資源を活用したまちづくり活動の支援

文化財や地域資源を活かしたイベントの開催や情報発信により、地域住民や来訪者が地域の歴史や文化に興味を持つ機会の増加を図ります。

◆ 実施例：蔵めぐりまちあるき（市内）

蔵めぐりまちあるきは、足袋蔵や古い建物を巡るイベントで、普段は公開していない足袋蔵の内部を開放し、音楽の演奏や足袋作りの実演、藍染体験などが行われています。

蔵めぐりまちあるき



1-10 地域における空き地や道路空間の管理・保全

まち並みづくりやにぎわいの創出に向けた活用を進めるために、地域で空き地や道路空間の管理や保全を図ります。行政は、管理・保全に必要な支援や、取組みと連携した効果的な事業を推進します。

◆ 実施例：行田市道路等里親制度（市内）

行田市道路等里親制度は、地域住民、団体、学校、企業がボランティアで道路の清掃美化活動を行い、道路環境づくりに取り組む制度です。活動団体になると、県や市町村が活動をバックアップします。平成25年12月現在、市内では、9つの活動団体が清掃活動に取り組んでいます。

長野地区での清掃美化活動



1-11 まちづくり活動やイベントの情報発信

まち歩きや観光案内など、地域で取り組んでいるまちづくり活動や、祭り・イベントなどの情報を一元化し、地域情報として市内外への発信を推進します。

◆ 実施例：行田市観光協会（市内）

行田市観光協会では、観光スポットや資源、イベント、回遊ルート、特産品等の紹介をしており、地域の情報発信の中心的な存在としてまちづくり活動に寄与しています。

1-12 まちづくりニュース等の発行によるまちづくり意識の醸成

地域におけるまちづくり活動や協議会等の取り組み状況について、定期的にまちづくりニュースを発行し、地域住民や事業者のまちづくり意識の醸成を図り、まちづくり活動への参加の呼びかけを図ります。

◆ 実施例：景観まちづくりワークショップ（市内）
当該地区では、「まち並み」と「にぎわい」について、これからの景観まちづくりの方策をあらゆる世代の方が自由に考え、意見を出し合う場を設けています。ここでの意見は、全4回のニュースとして、市のホームページ等に掲載する等、情報発信を行っています。

第1回景観まちづくりワークショップニュース



方針2 歴史と文化の香りが漂う歩きたくなるまち並みづくり

※再掲は除く

2-1 景観形成に関するルールづくり

地域住民との十分な協議を行いながら、建物の外観の色合いや塀の高さ、屋外広告物など景観に関わる要素について、景観形成のルールづくりを行い、周辺景観と調和した一体感のあるまち並みを形成します。

◆ 実施例：地区のまちづくりガイドライン（川越市）

地区独自の景観形成の方針と基準を定めており、例えば、クレアモール・八幡通り・中央通り周辺地区では建築物の形態意匠は、周辺景観に配慮したしつらえに努め、また、高さや壁面の位置を制限する等の景観形成基準を設けています。

2-2 足袋蔵等の歴史的建築物の保存及び活用

地域の個性的な魅力を形成する重要な要素の一つである、足袋蔵等の歴史的建築物の積極的な保存と活用を図ることで、古くから積み重ねられてきた歴史と文化の面影が残る豊かなまち並みを形成します。

◆ 実施例：ぎょうだ足袋蔵ネットワーク（市内）

市内に残る足袋蔵を保存・活用し、ネットワークを活用したイベント等の開催を通し、地域の歴史と文化の面影が残るまち並みの形成とにぎわいの創出に寄与しています。



足袋とくらしの博物館

2-3 歴史的建築物周辺のまち並み環境の整備

歴史的建築物の周辺においては、まち並みの特性などを十分に配慮した上で、道路や住宅、公共施設などについて、形態や意匠に工夫を施した整備を行うことで、趣があるまち並みを形成します。

◆ 実施例：蓮華寺通りの整備事例（市内）

蓮華寺通りでは、近年石畳調のカラー舗装の整備が行われ、歩きやすく、きれいな路地空間が形成され、歴史的・文化的なまち並みを形成する一助となっています。



カラー舗装化がされた蓮華寺通り

2-4 歴史的なまち並みの修景（外観や塀）

まち並みの特性や地域の特徴などに配慮した形態や意匠を施した建物や塀などの改修を促進し、歴史的なまち並みの魅力向上につなげます。

◆ 実施例：蓮華寺通り（市内）

ふるさとづくり事業を活用し、門及び板塀の改修を実施し、周辺環境に調和した歴史的なまち並みの形成が図られています。

板塀の改修



2-5 商店街におけるにぎわいと歴史が感じられる店舗前空間の形成

店舗前の空間を地域や来訪者へのおもてなし空間の一つと考え、花や緑で彩る、形態や意匠に配慮したベンチを設置する等、地域の歴史や文化が感じられるおもてなし空間を形成します。

◆ 実施例：店舗前空間のベンチ設置（愛知県豊田市足助）

市の助成事業を利用し、商店の軒下にベンチを設置し、また、地域の地図などが掲載されたクロスをかけ、来訪者への休憩空間として利用されています。



足助の店舗前のベンチとクロス

2-6 回遊するための道路の美装化及び電線類の地中化

歩道の舗装による美装化や、景観の阻害要因である電線類の地中化を行い、歩きやすく落ち着いたまち並みの形成を図ります。

◆ 実施例：国道 125 号の電線類の地中化（市内）

国道 125 号では、電線類の地中化及び童・銅人形による修景の整備が行われ、開放感のある美しいまち並みの形成が図られています。

電線類を地中化し、童・銅人形が建つ国道 125 号



2-7 まち並みのライトアップ及び歩道用照明の設置

歴史的・文化的な風情が残るまち並みのライトアップを実施するなど、昼間とは異なる様相のまち並みを演出することにより、まち並みの魅力の向上を図ります。また、地域の特徴などに配慮した形態や意匠の歩道用照明を設置し、夜でも歩きやすく、歴史的・文化的な雰囲気が感じられるまち並みを形成します。

- ◆ 実施例：小江戸川越ライトアッププロジェクト（川越市）
夜の魅力を提案するプロジェクトとして、小江戸川越ライトアッププロジェクトを実施し、個性ある景観づくりやにぎわいの創出を図っています。

歴史的建築物のライトアップ（川越市口答承認済）



2-8 歴史的建築物等の案内表示と誘導サインの統一

来訪者に歴史的建築物等の存在や歴史的・文化的価値を明確に伝えるための案内表示や誘導するサインをわかりやすく、統一性のある表示にするため、平成22年度に策定した行田地域観光案内標識ガイドラインに沿った表示とします。また、これらの案内表示やサインは、地域の特性や周辺環境と調和するように、デザインや素材に配慮したものの設置を図ります。

- ◆ 実施例：行田地域観光案内標識ガイドライン（市内）
観光案内標識の統一化を図るため、行田地域観光案内標識ガイドラインに基づき、デザインの統一化やわかりやすい表示にし、市民や来訪者にやさしいまちづくりを推進しています。

商工センター駐車場前の案内標識

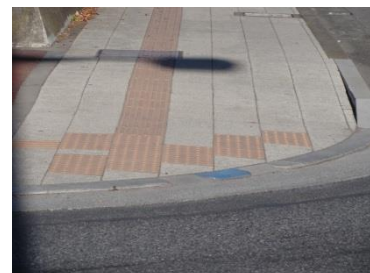


2-9 ユニバーサルデザインによる 歩行者空間等の整備

高齢者や障がい者などあらゆる方が安心してまちなかを回遊できるように、人に優しい歩行者空間の形成に向けたユニバーサルデザイン化を行い、まちなかの快適性や利便性の向上を図ります。

- ◆ 実施例：歩道のユニバーサルデザインブロック（市内）
都市計画道路常盤通佐間線（公園通り）には、段差や見切りがある方が良い視覚障がいの方、段差が無い方が良い車いすの方、双方のニーズを両立するユニバーサルデザインブロックが整備され、誰もが歩きやすい環境の形成が図られています。

市役所付近のユニバーサルデザインブロック



方針3 水と緑がうるおいをもたらす四季を感じるまち並みづくり

※再掲は除く

3-1 憩う場所としての水辺空間の環境整備

忍川周辺や、忍城址周辺のせせらぎ・遊歩道の整備にあたっては、市民や来訪者が憩う場所として、並木の整備や歩きながら水とふれあうことができる親水空間の整備を図ります。

◆ 実施例：酒巻導水路の親水護岸整備（市内）

緑と一体となった水辺景観を形成するために、酒巻導水路において周辺環境に配慮した遊歩道の整備を行い、遊歩道の沿道には花を植えるなどの取組みを行われています。

酒巻導水路



3-2 幹線道路沿道の街路樹の保全と整備

国道 125 号沿道や都市計画道路常盤通佐間線（公園通り）沿道において、既存の街路樹の適正な維持・管理を推進します。

3-3 寺社仏閣等のまとまった緑の保全

蓮華寺や清善寺などの寺社仏閣等のまとまった緑地を、地域のシンボルとなる緑地空間として社寺や地域との協働により保全を図ります。

◆ 実施例：自治会による公園の管理（市内）

本市では、地域（街区）公園の管理を地元自治会が行い、平成 25 年度では 67 公園、47 自治会で取組まれており、地域の積極的な関与による緑地空間の保全が行われています。

宮本公園での活動



3-4 緑豊かなポケットパークや広場の整備

まちなかに緑豊かなポケットパークや広場の整備を推進し、地域住民や来訪者が憩える空間の形成を図ります。

◆ 実施例：城西ポケットパーク（市内）

本市の中心部地域にある城西交差点には休憩所など、市民や来訪者が集うオープンスペースとして、利用されています。

城西ポケットパーク



方針4 暮らしと交流が調和したにぎわいづくり

※再掲は除く

4-1 都市機能の集約に向けた生活関連施設の充実

都市機能の集約に向け、医療・福祉・子育てなどの生活関連施設の集積を図り、暮らしやすいまちなかの形成を図ります。

4-2 空き地や空き家を活用したコミュニティスペース等の滞在空間の整備

空き地や空き家を活用して、地域や団体等と協働で、地域住民や来訪者へ開けたコミュニティスペースや休憩場所等の滞在空間の整備を図ります。

◆ 実施例：佐賀「わいわい!!コンテナ2」(佐賀市)

わいわい!!コンテナは、まちなかで誰もが自由に楽しむことができる無料の「空き地リビング」として、図書館コンテナや交流コンテナなどを展開し、地域のにぎわいの創出に寄与しています。

空き地を活用した「わいわい!!コンテナ2」(佐賀市口答承認済)



4-3 空き店舗を活用した商店街の活性化

新規出店者やイベント主催者が空き店舗を借りやすいような仕組みづくりや、所有者や商店主の意識の醸成を行うとともに、起業家支援事業の更なる充実により、商店の増加やにぎわいの創出を図り、商店街の活性化につなげます。

◆ 実施例：起業家支援事業(市内)

市内で空き店舗を賃借して新たに事業を開始しようとする方に対し、家賃及び出店にあたっての改装費用の一部を助成しています。

起業家支援事業で起業した翠玉堂



4-4 若者の定住促進

起業家支援や子育て世帯への支援等に取り組む、若者が住み易く、住んでみたい、住み続けたいと思える地域を形成し、若者の定住の促進を図ります。

◆ 実施例：行田市子育て世帯定住促進奨励金(市内)

将来にわたり定住人口の増加を図ることを目的として、平成25年度から子育て世帯の住宅取得費用の一部を助成しています。

4-5 地元の素材を使った特産品の開発及び販売

地元の素材を使い、特産品や土産物等の開発及びその販売を促進することにより、地域の知名度の向上と活性化を図ります。

◆ 実施例：行田在来の青大豆を使用した加工品（本市）
行田在来青大豆は、「豆腐」をはじめ、「みそ」、行田名物「ゼリーフライ」、「豆せんべい」、「枝豆おかき」、「えだまめアイス」など、工夫を凝らした商品が続々と生み出されるなど、ブランド化が図られています。



行田在来青大豆

4. 施策展開の方針

(1) 施策の展開方向

秩父鉄道行田市駅周辺の歴史的建築物が集積するエリアにおいて、周辺との連携を勘案した「軸」と、歴史的に特徴がある3つの「界わい・まちかど」を設定し、具体的施策を展開します。

【軸の方針】

① にぎわいや歴史・文化が感じられるまち並み軸

◆本町通り周辺のまち並み軸

・国道125号周辺の市の中心的な軸として、童・銅人形や点在する歴史的建築物を活用したまち並みづくりと空き地等を活用したにぎわいの創出を図ります。

◆秩父鉄道行田市駅から新町通り周辺のまち並み軸

・行田市駅から商店街をつなぐにぎわいの軸として、点在する歴史的建築物や空き店舗を活用したまちづくりを図ります。

② 水辺のまち並み保全・形成軸

◆忍川周辺の水辺空間軸

・忍川を中心に、潤いやすがすがしさが感じられ、誰もが親しみやすい水辺空間を形成します。

③ 中心官公庁街と歴史的・文化的資源をつなぐ軸

◆中心官公庁街周辺の都市機能集積軸

・中心官公庁街、忍城址や水城公園等との連携を強化し、都市機能が集積した、にぎわいに満ちた回遊しやすい空間と快適な街路空間を形成します。

【界わい・まちかどの方針】

◆北谷通りと蓮華寺通り周辺の界わい・まちかど

・足袋蔵等を活用したまち並みづくりと連続性とまとまりのある生活環境と調和した界わいの形成を図ります。

◆新店通り周辺の界わい・まちかど

・歴史的建築物や空き地を活用したまち並みづくりと昔の鍵曲がりの町割りを活かした界わいの形成を図ります。

◆八幡通り周辺の界わい・まちかど

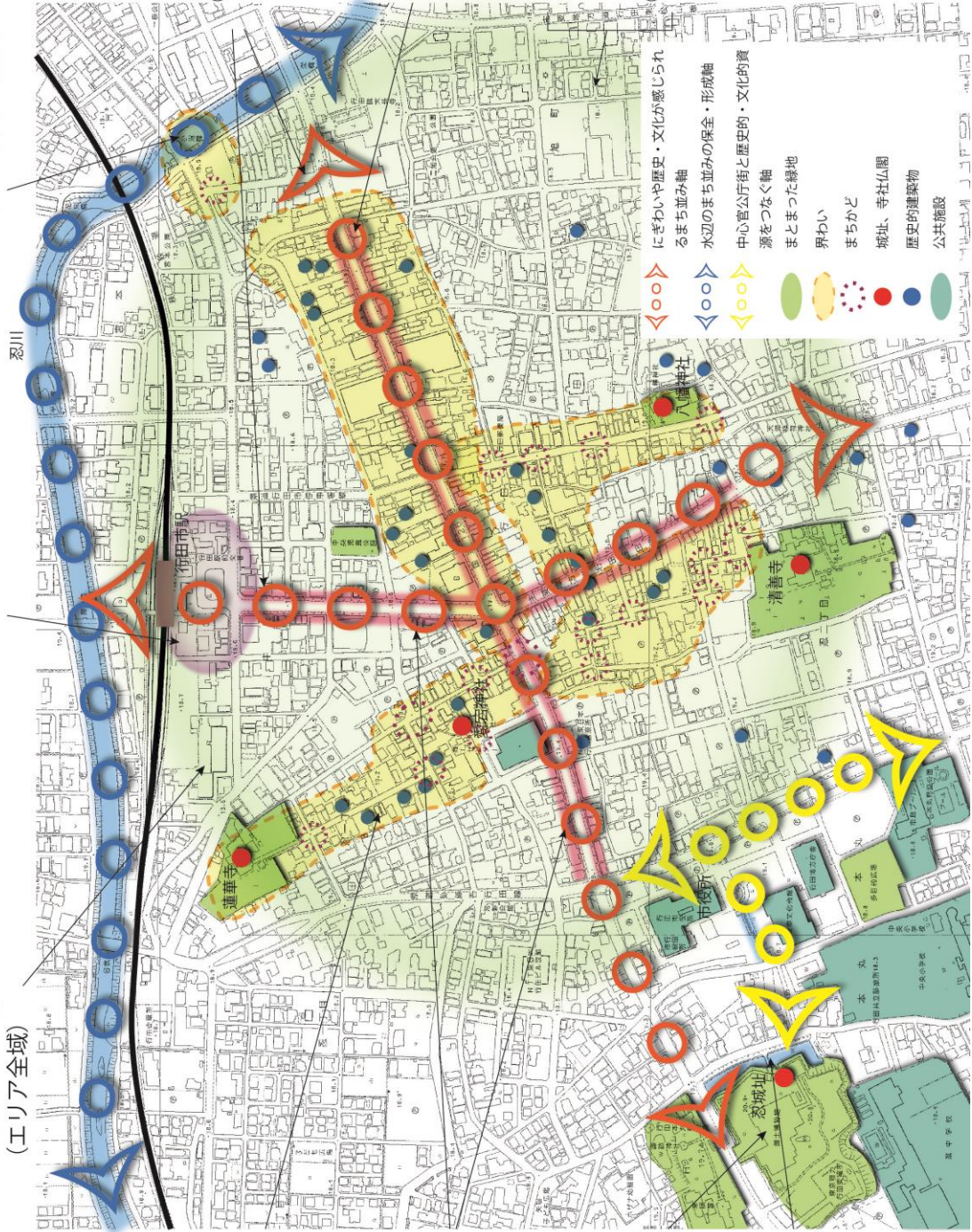
・忍城址等とのつながりを強化し、地域のにぎわい創出と歩行者空間の形成を図ります。

■ モデル地区の施策展開の方針図

○落ち着きのあるたたずまい
の住宅地の景観づくり
(エリア全域)

○秩父鉄道行田市駅に
ぎわいづくり

○市民や来訪者が親しみや
すい水辺空間軸の形成



○まとまりとつながり
のある界わい・まち
かどの形成

○にぎわいと調和した
まち並みの育成

○所有者や地域と進め
るまとまりのある緑
の保全

○資源や界わい、まち
かどのつながりがあ
る、歩きたくなる歩
行者空間の形成

○にぎわいや歴史・文
化が感じられるまち
並み軸の形成

○地域や団体と連携し
た空き店舗、空き地、
空き家を活用した沿
道のにぎわいづくり

○歴史的な雰囲気を感じ
られるまち並みづ
くり (エリア全域)

○歴史的建築物を保存
・活用したにぎわい
のあるまち並みを育
む (エリア全域)

（２）軸の具体的施策

① にぎわいや歴史・文化が感じられるまち並み軸

本町通り周辺のまち並み軸

本町通り周辺のまち並みは、沿道の商店や銀行、蔵造りの商家など本市の中心地として栄えた歴史を物語る建築物等から成り立っています。

更に、直線的に伸びる道路は、歴史的にも宿場町として本陣があったメインストリートであり、電線類の地中化や歩道沿いに童・銅人形のモニュメントの設置といった道路景観の修景が行われた結果、まち並みの主要軸としての性格を強めており、今後にもぎわいや歴史・文化が感じられるまち並みの形成に向けた取組みが求められます。



本町通りのまち並み

【取組みの方向】

空き店舗や空き地等を活用し、にぎわいの連続性が感じられるまち並みの形成を図ります。また、武蔵野銀行行田支店や足袋蔵等の歴史的建築物を活かして、歴史と文化の積み重ねが感じられる地域のメインロードとして、歩いて楽しいまち並みの形成を図ります。

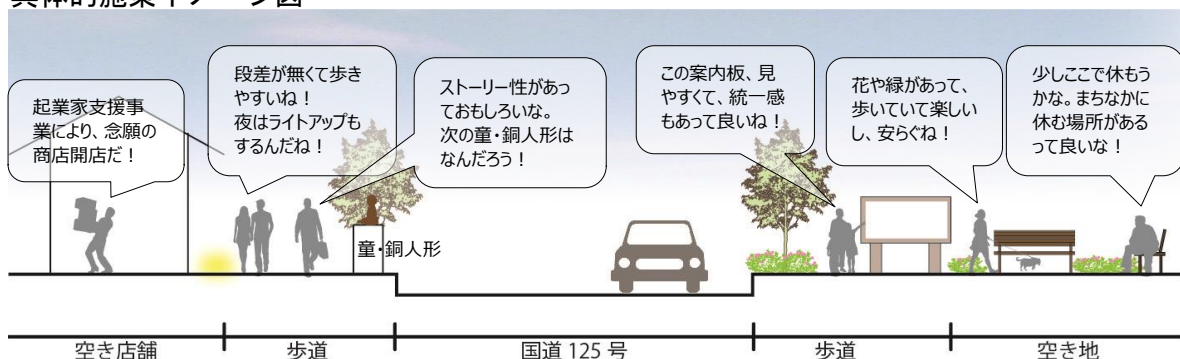
忍城址と公共施設とのつながりを強化し、“まちなかの顔”をつくる！

具体的施策展開図



主な具体的施策	
歴史的建築物を活かした景観形成のルールづくり	
街路樹と植栽による通りの連続性の創出	
沿道の童・銅人形や空き店舗等を活用したイベントの実施	
段差を無くした歩きやすい歩道の整備	
まち並みと歩道のライトアップによる演出	
空き店舗や空き地等を活用した休憩場所の設置	
分かりやすく、統一感のある案内表示の設置	

具体的施策イメージ図



秩父鉄道行田市駅から新町通り周辺のまち並み軸

秩父鉄道行田市駅から新町通り周辺のまち並みは、商店や事業所が立ち並ぶメインストリートとなっています。新町通りにおいては、アーケードによる商店街が形成されており、商業店舗とともに足袋蔵などの歴史的建築物が点在しています。

近世より本市の商業の中心地として栄えてきましたが、近年は空き店舗の増加による商店街の衰退が顕著になっており、商店街のにぎわいを取り戻すためにまち並みづくりやにぎわいの創出が求められます。



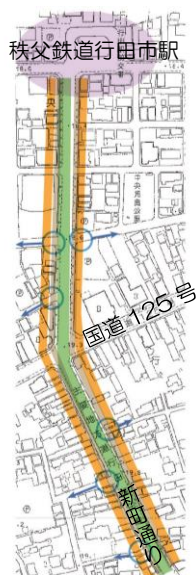
新町通りのまち並み

【取組みの方向】

秩父鉄道行田市駅前から新町通り沿いの空き店舗や空き地等を、チャレンジショップや地域の特産品を販売する屋台村の設置などに活用するとともに、商店の店舗前を花で彩る、ベンチを設置する等、店舗前空間を小さな交流場所として活用し、人の流れや連続性のあるにぎわいの創出を意識したまち並みの形成を図ります。また、沿道の足袋蔵等の歴史的建築物を活かして、歴史と文化が感じられ、歩いて楽しいまち並みの形成を図ります。

地域の玄関口からのにぎわいの連続性をつくる！

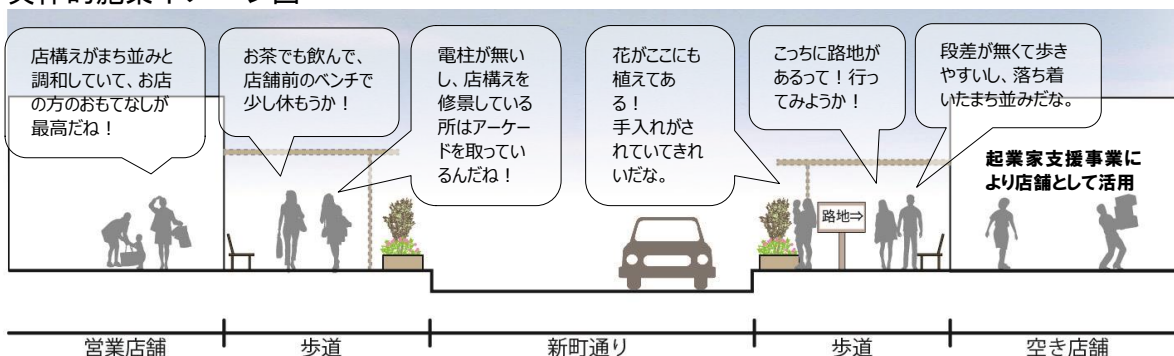
具体的施策展開図



主な具体的施策

チャレンジショップや地域の特産品を販売する屋台村の設置等による空き店舗や空き地等の活用	
商店街における店舗前空間の整備	
景観形成のルールづくりと電線類の地中化	
市民活動と商店街・商店との連携による多様な空き店舗活用	
歴史的なまち並みの修景（外観や塀）整備	
分かりやすく、統一感のあるサインの設置	

具体的施策イメージ図



【段階的な空間形成イメージ】

【現状写真】

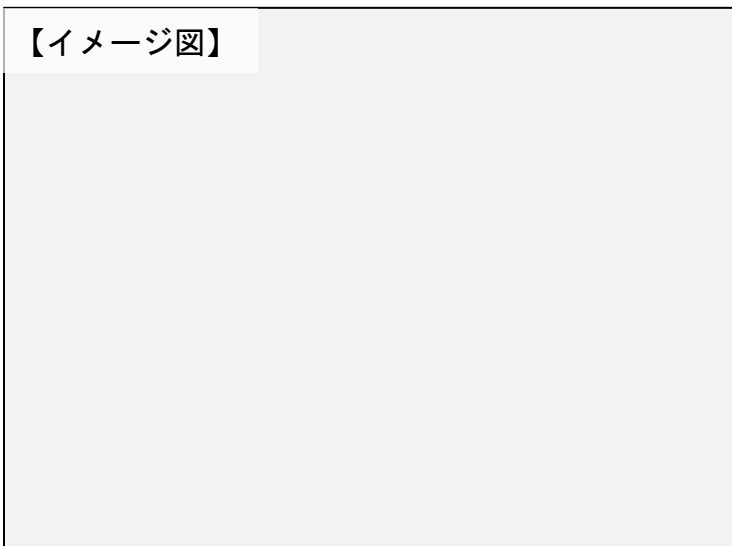


現在の状況

- 空き店舗が多く、シャッターにより、にぎわいの連続性に欠ける。
- アーケードにより、歴史的建築物のファサード¹⁾が隠れている。
- 街路樹の枝が切られ、歩行者空間に緑が少ない。



【イメージ図】



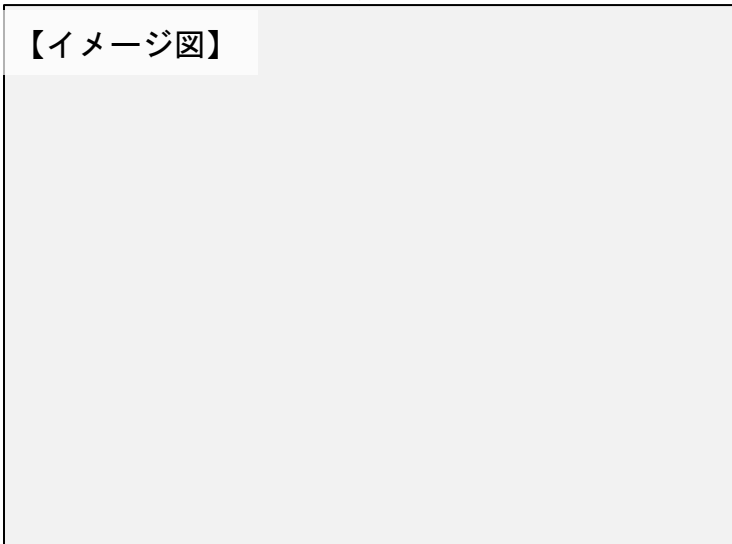
【段階①】

■市民・事業者の取組み

- 空き店舗を地域のまちづくり活動の場として活用
- 店舗前空間に花壇などによる緑化
- 歩行者空間に休憩場所（ベンチ等）を設置
- 景観ルールにより、落ち着いた色彩に統一
- 建築物の修景整備



【イメージ図】



【段階②】

■行政による空間整備

- 建築物の修景整備の支援
- 電線類の地中化
- アーケードの一部撤去（歴史的建築物のファサードの見える化）
- 街路樹として低木を植樹

1) ファサード：建物の正面をなす外観のこと。

② 水辺のまち並み保全・形成軸

忍川周辺の水辺空間軸

忍川周辺は、秩父鉄道行田市駅をはじめ、住宅などの低層の建物が建ち並び、近年では、川沿いを歩けるように遊歩道や樹木が整備され、地域の豊かな親水空間の形成が図られつつあります。

しかし、地域住民や来訪者で忍川へ足を伸ばす人は少なく、また、河川の水質悪化等の問題が挙がっており、水と緑の潤いやすがすがしさが感じられ、誰もが親しみやすい水辺空間の形成が求められます。



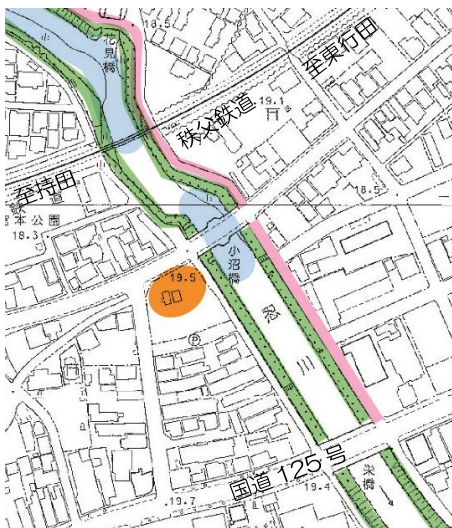
忍川

【取組みの方向】

市街地にありながら、身近に自然とふれあうことが出来る空間として、散策コース及びポタリング（自転車による散策）の回遊コースの設定や忍川周辺でのイベントの実施などにより、忍川を身近に感じ、楽しめる場の充実を図り、まちのにぎわいにつなげます。また、秩父鉄道や道路、橋からの眺望を意識した、水と緑が豊かな川沿いの風景にふさわしい、落ち着いた水辺空間の創出を図ります。

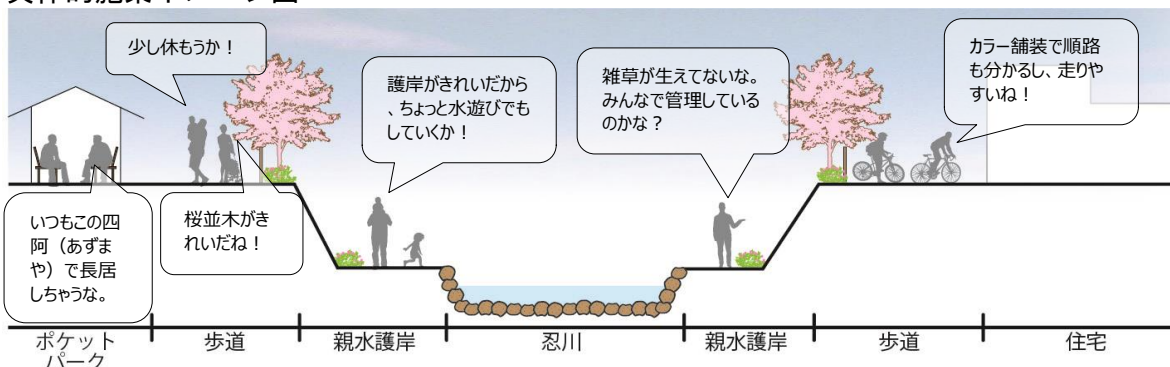
水と緑が潤う、癒しの滞留空間をつくる！

具体的施策展開図



主な具体的施策	
遊歩道の清掃や樹木等の維持・管理	—
親水空間を活用したイベントの実施	○
地域や来訪者の憩いの場所となる親水護岸の整備	○
既存のポケットパークの環境維持・管理による、地域や来訪者が滞留したくなる空間の形成	○
魅力ある、川沿いの遊歩道（カラー舗装）の整備	—

具体的施策イメージ図



③ 中心官公庁街と歴史的・文化的資源をつなぐ軸

中心官公庁街周辺の都市機能集積軸

忍城址周辺の歴史・文化軸である都市計画道路常盤通佐間線（公園通り）は、国道 125 号から忍城址や水城公園へアクセスする際の主要通りとして重要な軸となっており、沿道には市役所や産業文化会館等の公共施設が集積しています。公園通りの周辺は、文化ゾーンとして位置づけられており、沿道から忍城址へのアクセスは、浮き城の径^{みち}としてせせらぎ水路による水辺空間が形成されています。

行田市駅周辺地区と中心官公庁街とのつながりを強化し、にぎわいの創出を図るために、都市機能が集積する魅力ある空間の形成と、歩きやすく、公共施設や忍城址、水城公園等へ回遊しやすい街路空間の形成が求められます。



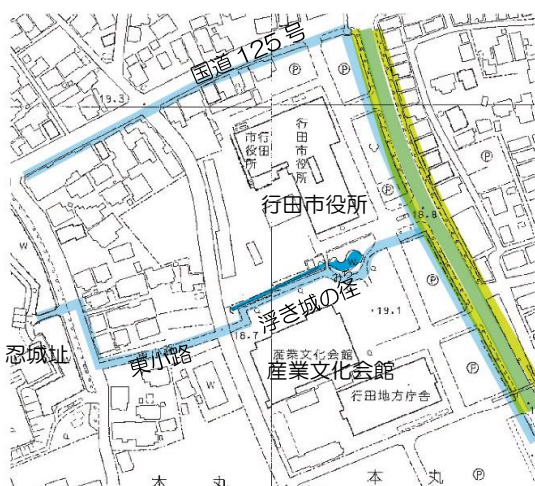
浮き城の径^{みち}

【取組みの方向】

水と緑と歴史を一体的に感じられる拠点の形成を図るため、行田市駅周辺地区と中心官公庁街とのネットワークを強化し、歩行者が回遊しやすく、にぎわいに満ちた空間を形成します。また、花壇や植栽などの緑化を推進し、快適な街路空間の形成を図ります。

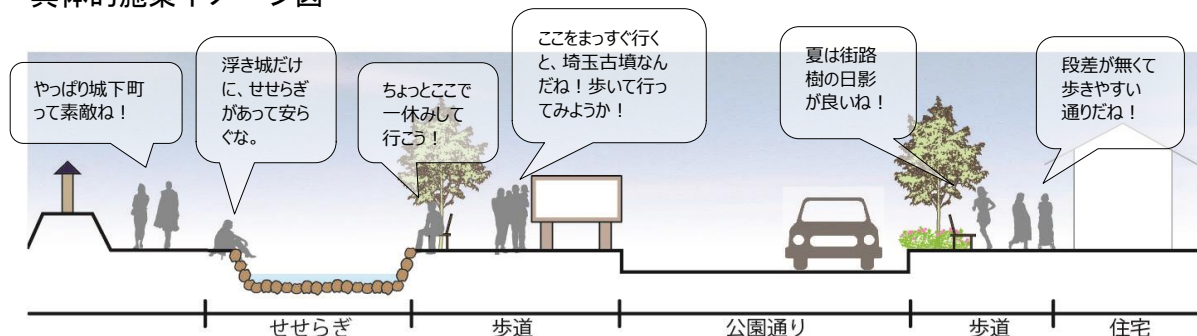
回遊性があり、水と緑に親しめる街路空間をつくる！

具体的施策展開図



主な具体的施策	
ユニバーサルデザインによる歩行者空間等の充実	—
市民との協働による緑化の推進	—
幹線道路沿道の街路樹の保全と整備	—
資源間をつなぐ回遊性ネットワークの強化のためのせせらぎの整備	—
せせらぎや遊歩道の整備による憩う場所としての水辺空間の環境整備	—

具体的施策イメージ図



北谷通りと蓮華寺通り周辺の界わい・まちかど

このような近年の界わいの変化を活かし、にぎわいの創出を図り、連続性とまとまりのある訪れたい界わいの形成を図る必要があります。



蓮華寺通りのまち並み

現在活用されている歴史的建築物での活動やイベント等の支援を行うと共に、空き店舗や空き地を活用し、にぎわいと交流の創出を図ります。また、本町通りからのにぎわいとまち並みの連続性や北谷通りと蓮華寺通りとのにぎわいとまち並みの連続性を意識し、まちかど空間の整備、舗装の統一やサインの整備等を行い、回遊しやすいまち並みの創出を図ります。

具体的施策展開図



主な具体的施策	
体験施設の充実等によるにぎわいの再生	
歴史的建築物等の保全・活用・維持管理の支援	
歴史的なまち並みづくりに向けた外観や塀の補修	
まちかど空間の建物の塀や工作物の修景	
わかりやすいサインの整備	

ここにそば屋があるよ！店構えも良いし、美味しそうだね！入ってみようか。

全体的に調和している素敵な通りだね！

正面にお寺があるみたい！ちょっと寄ってみようか！

サイン

いつ来てもお花がきれいだね！

ここでいろいろな体験が出来るんだね！楽しそうだな！

店舗 | 蓮華寺通り | 足袋蔵 (体験施設)

新店通り周辺の界わい・まちかど

新店通りは、武家地と町人地の境界で、かつては枡形門があり、現在も忍城址の城下町であった遺構がかぎ型の通りの形態からうかがえます。

界わいには、長屋や足袋蔵等の歴史的建築物が建ち並び、本市の歴史や文化を感じることが出来る場所であり、この特徴を活かしたまち並みづくりとにぎわいの創出を図る必要があります。



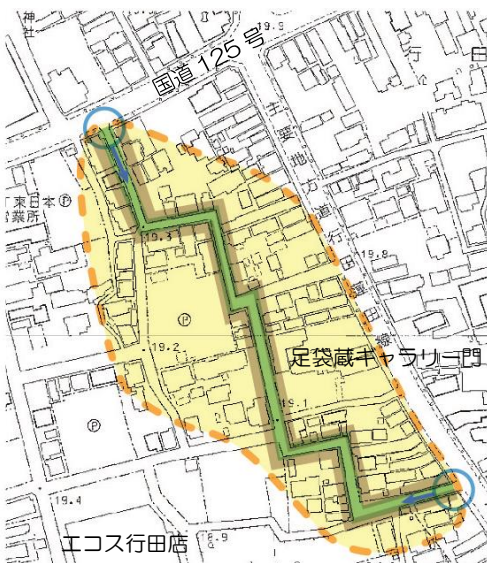
新店通りのまち並み

【取組みの方向】

わかりやすく統一感のあるサインの設置や建物の修景等、まちかどの整備や低利用地の活用による交流空間の創出を図ることで、本町通りと新町通りからのつながりを形成し、歴史や文化を歩きながら楽しむことが出来るにぎわい空間の形成とまち並みづくりを図ります。

市民との協働による、にぎわいのある城下町の散策路をつくる！

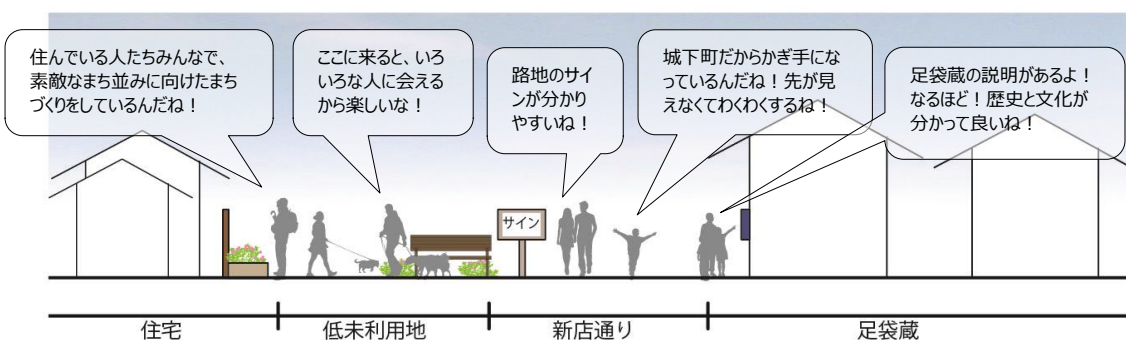
具体的施策展開図



主な具体的施策

市民との協働による路地空間の緑化の推進	—
わかりやすく統一感のあるサインの整備	○
建物の修景（外観や塀）整備	□
歴史的建築物周辺の舗装の美装化等による、まち並みや環境の整備・管理	—
低利用地の活用によるにぎわいある交流空間の創出	□

具体的施策イメージ図



【段階的な空間形成イメージ】

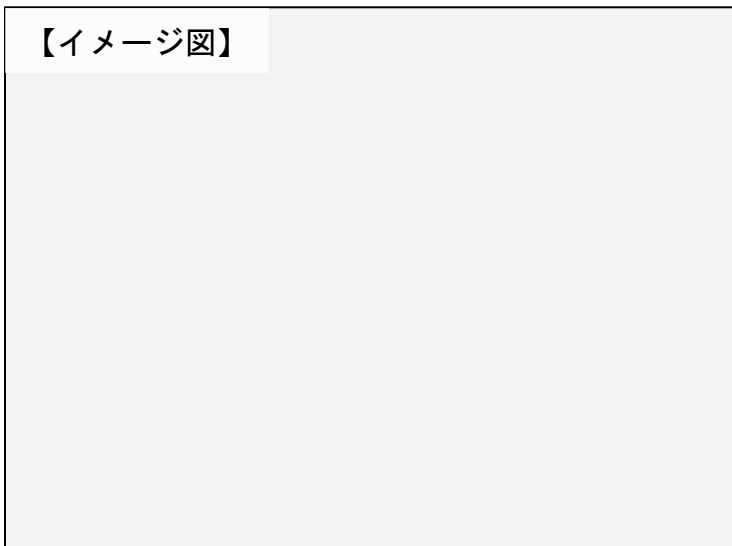
【現状写真】



現在の状況

- ・空き地が点在している。
- ・足袋蔵などの歴史的建築物が立地している。
- ・緑が少なく、うるおいに欠けている。
- ・昔の町割りが残っているが、幹線道路から分かりにくい。

【イメージ図】



【段階①】

■市民・事業者の取組み

- ・空き地の管理・緑化整備
- ・空き地への花壇などによる緑化
- ・歩行者空間への緑化
- ・移動図書館やチャレンジショップ、仮設カフェの設置
- ・足袋蔵の改修・整備

【イメージ図】



【段階②】

■行政による空間整備

- ・足袋蔵等の改修・整備の支援
- ・石畳等による歴史的街路整備
- ・まちかどへの観光誘導サインの設置
- ・ポケットパークへの休憩施場所の設置

八幡通り周辺の界わい・まちかど

八幡通り周辺の界わいは、忍城下総鎮守として忍城主の崇敬した八幡神社を中心に、当時の旧水路のまち割がまちかどとして残っていますが、その名残は時代の変化とともに失われつつあります。

また、現在の八幡通りは行田郵便局や店舗が建ち並ぶ住宅地となっており、自動車交通量が多いため、歩行者にやさしい空間形成が求められます。



八幡通りのまち並み

【取組みの方向】

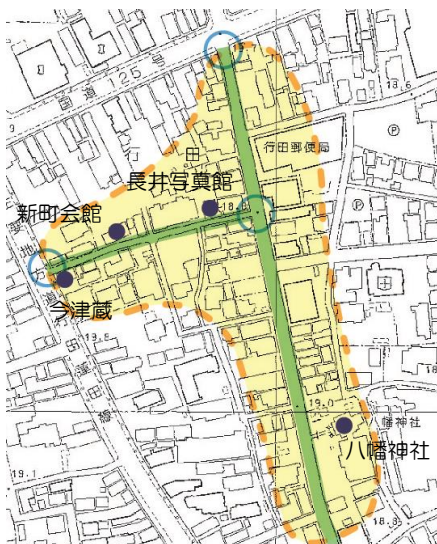
市民や来訪者が回遊しながら、八幡通り周辺のにぎわいを感じることができるように、快適で安全な歩行空間の形成や統一した案内表示により、歩いて楽しい界わいの形成を図ります。



今津蔵からみたまち並み

にぎわいを体感できる歩行者目線の散策路をつくる！

具体的施策展開図



主な具体的施策	
市民との協働による路地空間の緑化の推進	—
案内表示と誘導サインの整備	○
ユニバーサルデザインによる歩行者空間等の整備	—
歴史的建築物周辺の舗装の美装化等による、まち並み環境の整備・管理	□

具体的施策イメージ図

